

若者×ツナグバ参加団体「結～YUI～」の活動を見学してきました

2026年1月31日、東広島芸術文化ホールくららで開催された結～YUI～主催「お正月イベント」に行ってきました。

結～YUI～は、東広島市を中心に、外国につながる子どもたちや保護者を対象に、日本語教室や季節のイベント、ホームページ等を通じた日本の生活に関する情報提供を行っています。

東広島市は2025年12月現在、人口約19万人のうち、留学や技能実習などで、約1万人の外国籍の方が住んでおられます（東広島市ホームページより）。特に留学生の比率が高いのが特徴で、家族同伴で住まわれている方も多そうです。

子どもたちは地元の学校に通っており、言葉や生活習慣、文化の違いからなかなか馴染めない等の問題があり、このような子ども達の居場所を提供することを結～YUI～は目指して活動しています。

今回は、「お正月イベント」と題して、日本語教室、年賀状づくり、ぜんざいづくりを行いました。参加者は2組で子ども4名、保護者3名（いずれも2回目の参加）、結～YUI～メンバー2名、ボランティア1名の計10名でした。

日本語教室

自己紹介のあと、日本語教室が始まりました。「ちいかみくん」という絵本を使って、日本の正月にまつわる風習や遊びについて楽しく学びました。「かどまつ」「しめなわ」「かがみもち」「たこあげ」「おとしだま」「すごろく」など。

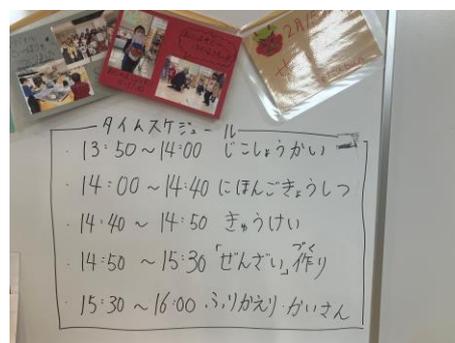
年賀状づくり

まずは十二支の動物、今年が午年であることや、参加者それぞれの干支が何かを調べて紹介しました。

年賀状は、それぞれが午（うま）や、好きなキャラクター等、思い思いに描いていきました。



くらら外観



スケジュール



日本語教室



年賀状づくり

ぜんざいづくり

まずはお餅を焼くところから始めましたが、ここでハプニング。コンロの元栓がどこかわからず、みんなで元栓探しが始まりました。年賀状づくりまでは少し子供達も緊張気味でしたが、ここで一気にリラックスした雰囲気になりました。みんなで焼けたお餅を粒あんの汁の中に入れてぜんざいの出来上がり。揃って頂きました。学校のことや日本の好きな食べ物等について話が盛り上がりました。また、保護者の方から、自分の国にもぜんざいに似た、甘い豆料理があると教えて頂きました。私自身、幼少期は「とんど」で食べるぜんざいが楽しみだったことを思い出しました。

おりがみ

当初の予定にはなかったのですが、おりがみが始まりました。おのおのが鶴や飛行機、ハートを折って楽しみました。

最後にみんなで集合写真を撮って、終了しました。次回は、内容未定ですが4月開催とのことでした。

感想

「お正月イベント」ということで、日本の正月の伝統や風習、食べ物について触れることができる機会でした。

子ども達も国の違いによる戸惑いもあると思いますが、少しでもこういった機会を通して日本のことが好きになってもらえたらいいなと思いました。

また、「かどまつ」「しめなわ」等の日本の風習について、私自身もその由来や意味を改めて考えることができる貴重な時間になりました。

このような機会を定期的に発信している結～YUI～に感銘を受けた一日でした。(常友)



ぜんざいづくり



ぜんざいの完成



年賀状と折り紙



集合写真